

R3年度 学生と看護職員との交流会

1. 目的：看護学生、指導者、現場で活躍する看護職員と触れ合い、交流・共に学ぶ場を共有することにより、互いの現状理解、互いの役割発揮につなぎ、学生時代から切れ目なく看護キャリア形成につながる人材育成を図る。
2. 対象：看護学生 30名程度
3. テーマ：～新しい仲間 つなげ 看護の夢～
先輩看護師の発表を聞き、本音で語り合うことで就業への不安軽減につなぎ、数年後看護師として働く自分をイメージしてみよう！

4. 日時・会場

地区	県南地区	県央地区	県北地区
第1回	8/12 (木)	7/30 (金)	7/29 (木)
第2回	3/17 (木)	3/19 (土)	3/22 (火)
時間	13:00～15:30		
会場	長崎県看護協会 長崎会館 (長崎市魚の町 3-28)	ながさき看護センター (諫早市永昌町 23 番 6 号)	長崎県看護キャリア支援センター (佐世保市平瀬町 3 番地 1)

5. プログラム

時間	内容
13:00～13:05	オリエンテーション
13:05～13:15	先輩看護師の自己紹介
13:15～14:45	各施設の先輩看護師より病院を選んだ理由、看護師になって良かったこと、働いて良かったこと、勉強の仕方とコツ、休みの過ごし方 等
14:45～15:15	グループワーク (フリートークあり)
15:15～15:25	各グループ共有 発表 質疑応答
15:25～15:30	アンケート記載 終了

意見

第1回：「将来が不安で毎日きつくてやめたいと思っていたけど、話を聞いて不安が軽減した。やっぱり看護師になりたいと思った。」
「乗り越えた先輩の話で改めて看護師になりたいと思った。」

「今日の話参考にしながらか勉強や実習を頑張りたい」

「楽しそうに話す先輩をみて自分もそんな看護師になりたいと思い、もっと勉強や演習を頑張りたいと思った。」

「自分としっかり向き合い、学校のことや就職のことを考えていきたい。」

第2回：「病院について詳しく知ることができた」「病院を選ぶうえで考え方を学んだ・教育体制について知ることが出来た」「病院で働くイメージができた」「看護師としてのやりがいを聞いた」

「国家試験に向けての学習方法が分かった」「実習に対しての心構えができた」

「本音が聞けて就職や国家試験への不安が軽減された」

「なかなか聞きにくいことにも答えてくれた ・説明会では聞けないことも聞くことが出来た」

「これからも頑張ろうと思えた」「看護師に頑張っとうと改めて思えた」

まとめ

第1回は「近い将来像を具現化することにより職業的アイデンティティを高める一因とし、学習の継続を図る要因へとしていく。その結果、退学理由の大きな要因である学習不振を避ける方向へと導く」を目的として対象者を入学後の期間が短い学年を主として実施。県南以外にて22名の参加があり、評価基準とした「学習に対する意気込み」、「将来像の明確化」についての返答を得ることが出来た。

第2回は「実習への不安に対し自己肯定感を支え過剰な不安を軽減、順調な学習へとつなげる」「就職活動に関し、先輩看護師と交流を行うことで選択方法を教授。その結果、過剰な不安軽減へとつなげる」を目的として次年度最高学年を主としていった。64名の参加にて「実習に対する不安の軽減」、「就職に関するポジティブな意見」等の返答を評価基準とし、多くの返答を得ることができた。

上記内容から、今後も対象に合わせた交流会の実施を薦めていきたい。